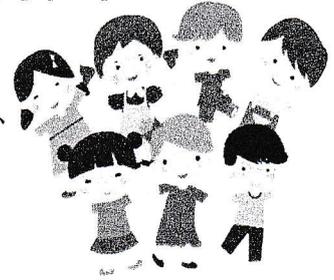
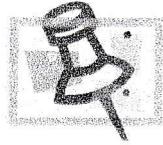


あきやま子どもクリニックニュース2017年11月号

今年も残すところ2ヵ月となりました。今年はずより講演が増え、クリニックを留守にすることが多くなり心苦しい限りです。ただ、私の話で、子どもたちに少しでも役立つことがあればと思います。今月も鹿児島を始め数か所に出かけます。



院長より



「子どもたちへの検査」

小児科医はできるだけ子どもたちの負担を少なくすることを考え、検査は避けています。そのため、できるだけ治療に必要なときに検査をするようにしています。診断のための検査が必要なときもありますが、一番に子どもの病状をみながら、検査時期を考えます。なぜならば、子どもたちにとって一度の経験は大きいものです。できるだけ、痛い思いや恐怖を与えるようなことは避けたいと思っています。これからの時期、インフルエンザの痛い検査の機会が多くなりますが、確実なときに検査したいです。



インフルエンザ予防接種

接種を開始しています。
接種方法については、ホームページをご覧ください

接種料金は4000円
(2回目の接種料金は3000円)

かかりつけ医にされている方は会員用
ホームページをご利用ください。

最近の流行っている病気

インフルエンザが少しずつ報告をされてきました。症状が疑わしいとき、集団で流行しているときは、積極的に検査と治療をしたいと思います。乳幼児に嘔吐下痢症が、また、大きいお子さんたちにマイコプラズマ感染が流行中です。

感染症として、突発性発疹、水痘があります。

訪問看護ステーション

先月、全介助の重い障害を持つ大越桂さんという、詩人の方の公演に参加することができました。14歳でやっと、筆談という方法で自分の思いを伝えることができるようになったそうです。それまでの伝わらない日々も常に人に向かい「心をみて」と叫び続けていたと、言います。時々伝わる人がいる事もわかったと。全く同じ子供達はいませんが、どんな子でも自分の思いを知って欲しい気持ちは変わらないように思います。周囲が心を見れる力、つけて行きたいですね。

(文責 梅田可愛)

病児保育室便り

今月は、保護者の方からよく聞かれる薬の飲ませ方についてです。

病児保育室では、当日処方された薬や、ご家庭から持参した薬を保育中に服用しています。お子さんにとって薬は苦手ということが多いです。そこで、粉薬の場合は、水の量を少なくして、なるべく1回でのみきれるようにしています。ただし、粉の量によって2~3回になってしまうこともあります。全て飲みきれたら、たくさんほめたり、抱きしめて、嫌だった気持ちをなくせるように心がけています。
(文責 千葉美香)

今月の代診と休診



1日(水)	午後診療	宗像先生
2日(木)	午前診療	秋山先生
6日(月)	午後診療	宗像先生
8日(水)	午後診療	宗像先生
9日(木)	早朝診療	西堀先生
10日(金)	午後診療	宗像先生
14日(火)	11時~午後診療	宗像先生
16日(木)	午後診療	宗像先生
17日(金)	早朝診療 午前・午後	西堀先生 宗像先生
20日(月)	午後診療	宗像先生
22日(水)	午後診療	宗像先生

木曜日の午前診療は西堀先生です。